

BEANSレポート

「鳥は木の実を色で選ぶのか味で選ぶのか」

4年

動機

- ・去年サルが、じゅくして甘くなったカキを食べていた。
- ・鳥は赤色の木の実を良く食べていた。(本によると鳥は紫外線が見えるから黒の色の木の実を良く食べる)



鳥の場合は木の実を色で選ぶのか味で選ぶのか？

調査方法

①実験に使う木の実を選んだ。

(2018年 6月25日~2018年 10月26日 124日間)

②色が違って糖度も違う木の実を選んだ。

③実験台にプレートをおいて木の実を入れ、実験した。

(2018年 11月16日~2019年 1月5日 50日間 5回)

④センサーカメラをしかけ、どんな鳥が食べに来るか調べた。

⑤野鳥公園に来る日ごとに木の実の数を数えて、くさっている実は新鮮なものに入れかえた。

(2回入れかえ)



木の実の糖度
をはかっている様子



センサーカメラ



ナナカマド



カキ



エノキ

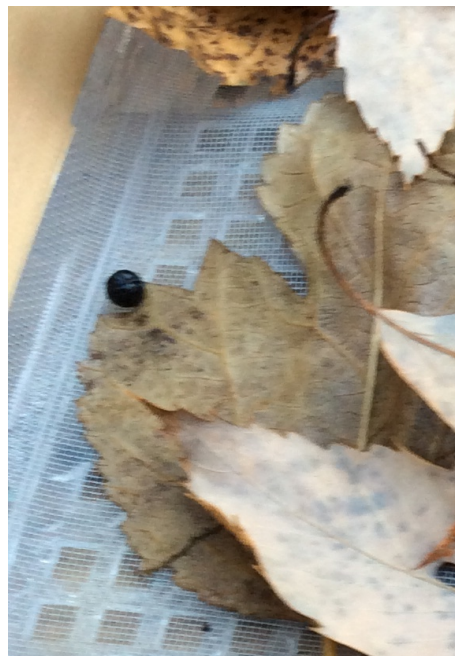


(たて0.7cm横0.6cm) (たて4.2cm横6.1cm) (たて0.5cm横0.6cm)

サンシュユ



ダンコウバイ



ウツギ



(たて1.5cm横0.5cm)

(たて0.7cm横0.8cm)

(たて0.6cm横0.5cm)

結果①

センサーカメラの表

2018 2019
12/1 ~ 1/4 まで センサーカメラ

BEANS 二次整理表

	シカ	サル	ヒヨドリ	シジュウカラ
食べた	0	1	3	0
通っただけ	4	0	0	0
実験台に上った	0	0	1	1

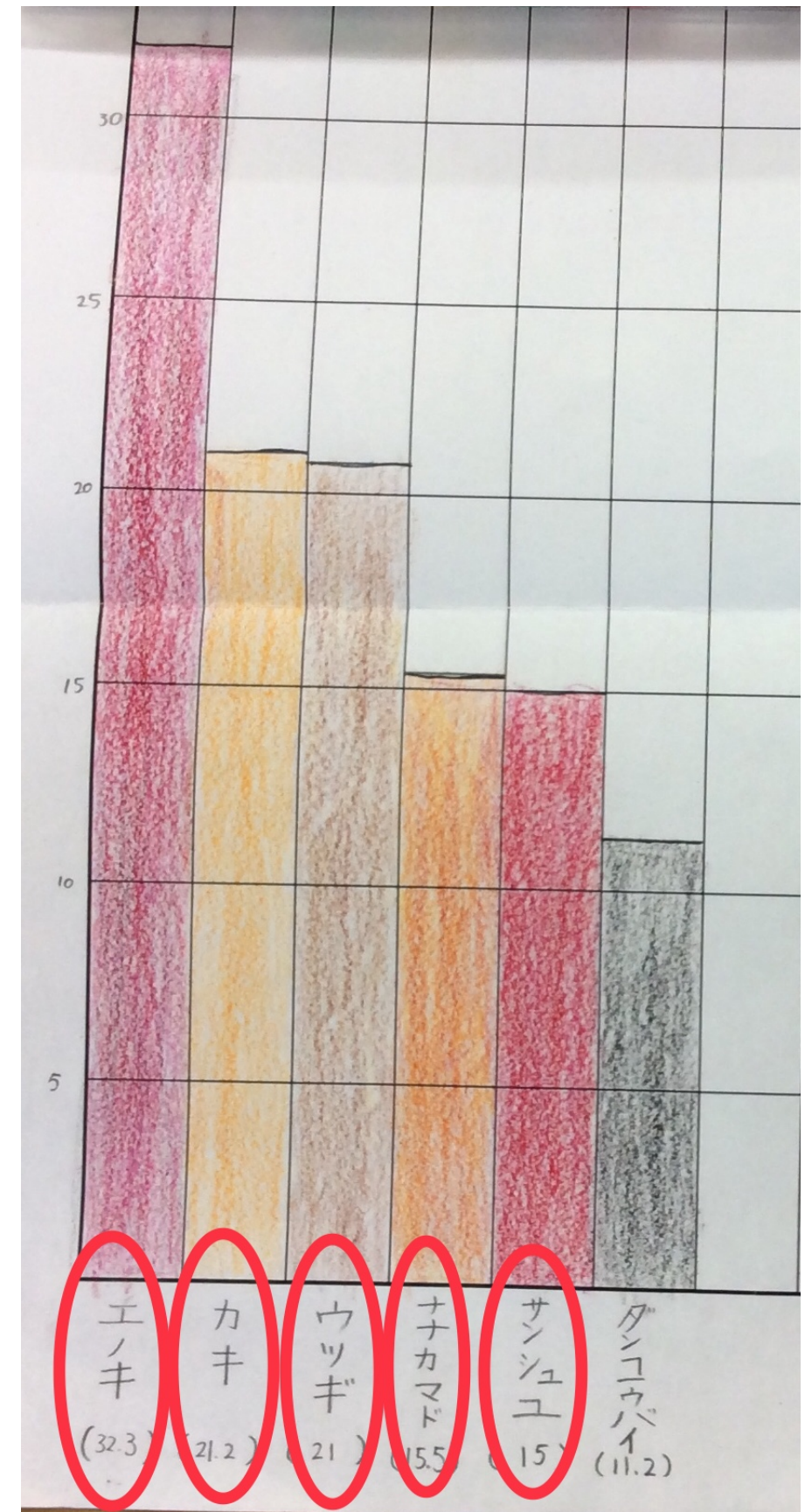
カキを食べているサル



- ・2018年 12月9日~12月10日の2日間にシカが4回来たが実は食べなかった。
- ・2018年 12月20日にサルがカキを 4 個食べた。
- ・2018年 12月25日~2019年 1月4日の11日間にヒヨドリが4回来て、3回はカキを食べた。
- ・2019年 1月2日にシジュウカラが来た。(食べてない)

結果②

- ・2018年 11月30日~2018 12月20日の21日間で食べられた実はウツギ以外、エノキ、サンシュユ、ナナカマド、カキは赤に近い色だった。
- ・食べられた実の糖度はバラバラだった。



糖度・色

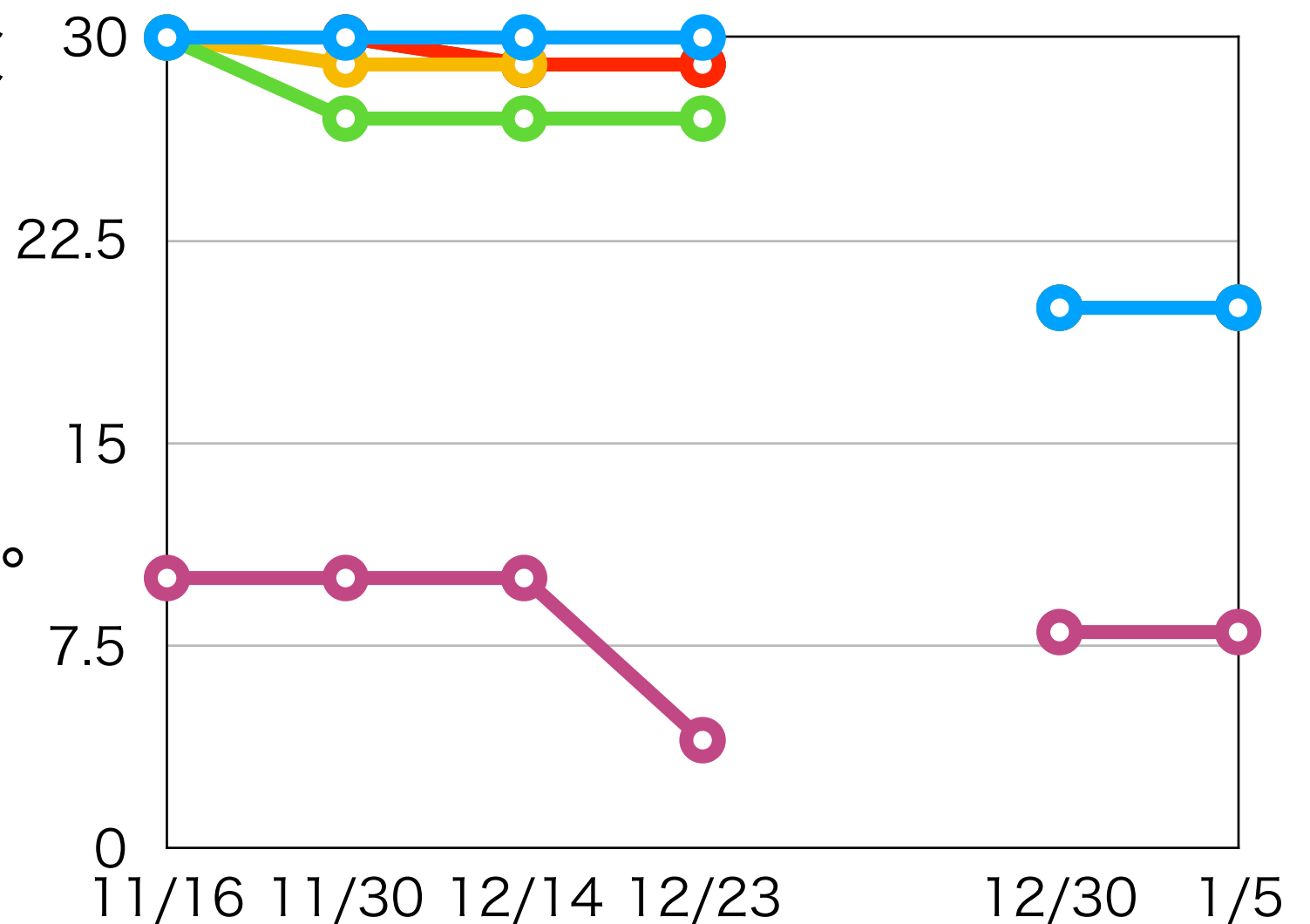
結果・分かったこと

・カキはへってはいないが、ヒヨドリにつつかれて食べられた。

・2018年12月30日に実験台が倒れて、実がみつけれなかったしたのでカキは8個、他の実は20こになった。エノキは森の中にもうなかったのでなしになった。

鳥は木の実を味で選ぶことも色で選ぶこともあると分かった。

○ ダンコウバイ ○ ウツギ ○ エノキ
○ サンシュユ ○ カキ ○ ナナカマド



木の実のへり方

考察

- ・ヒヨドリが食べた実は全てカキで、カキは実験の木の実に2番目に糖度が高かった。だから糖度が高いものを食べると考えた。
 - ・実験で食べられた実のほとんどは赤に近い色だったので色で選ぶことがあるのではないかと考えた。
 - ・サルが食べたカキは、実験の中で1番多く食べられて、糖度も高かったのでサルも糖度の高いものを食べると考えた。
 - ・3つへったウツギは、動物が食べられない風散布だったので風で飛んでいったと考えた。
- （身近な草木実と種ハンドブックより）

反省・感想

- ・台がサルや風により、たくさん倒れてしまったので来年からは木についたままです実験してみたい。
- ・木の実が先になくなってしまったので、先にとっておくようにしたい。
- ・実験に使う木の実は、本で調べて動物散布とゆう木の実だけにしたい。
- ・今年実験をして、紫外線が見える鳥は、赤や黒の色を良く食べると思ったけれど、それだけで選ぶわけじゃないことが分かって驚いた。だから、来年はどんな木の実がへるのか、またなぜへるのか調べたい。

参考文献

- ・「身近な草木実と種ハンドブック」
多田多恵子著　株式会社文一総合発行
- ・「身近な木の実植物の種図鑑&採集ガイド」
多田多恵子著　実業之日本社発行